

TSUDOI

スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 Avalanche	 Mantle	 Aster
中堅	 Pancake Swap	 Linea	 Hemi
新規	 OG	 Lombard	

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。こちらのマークを付与した銘柄のみ、AIによる相場分析の情報も記載しております。



週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 9/26

本分析ガイドは、Coinmarketcap (CMC) サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#14	 Avalanche	Layer1	¥1,943,241,738,257	¥4,601.83	8.56倍 (SOL比)	-5.55%
#27	 Mantle	Layer2	¥784,947,635,368	¥241.30	—	-3.26%
#36	 Aster	DEX	¥522,383,891,466	¥315.12	4.17倍 (HYPE比)	398.9%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap (CMC) で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、**-2.74%**となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Avalanche : AVAX (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：大企業や銀行の導入が増え、収益が安定化

9/24 The Binary Holdingsという会社がAvalanche上に新しいネットワークを作り、1億6900万人以上のユーザーを徐々に取り込む計画を発表しました。9/22 NASDAQに上場するAgriFORCEがAvalancheに特化した会社「AVAX One」として名前を変更し、約5億5000万ドルの資金調達を予定しています。調達した資金をAVAXのステーキングに使うため、市場で流通するAVAXの量が安定し、手数料収入が増えることとなります。さらに9/25 韓国の銀行Woori BankがAvalancheを使った新しいステーブルコインを試験導入し、日本でも三井住友銀行(SMBC)などが決済サービスを実際に始めています。 これらの動きが継続すれば、Avalancheの利用が広がり、価格や収益が安定的に伸びていく可能性があります。

AIによる相場分析：AVAX

AVAXは現在28.9ドル（約4,400円）付近で推移しており、下落が続いています。短期的には28.5ドル（約4,350円）を下回ると27ドル（約4,120円）まで下げやすく、上は30ドル（約4,580円）が壁となります。長期的には25ドル（約3,820円）が買いの目安となり、反発すれば32ドル（約4,890円）や36ドル（約5,500円）を目指す可能性があります。

Mantle : MNT

本銘柄は、直近3カ月で4度目の選出となります。

注目ポイント：セキュリティと金融機能の向上で機関投資家を呼び込む

Mantleは2025年9月にZKロールアップという技術を導入し、取引の安全性や速度を改善しました。さらにDeFi（分散型金融）サービスに必要な価格情報の信頼性を向上させる取り組み(完全にオープンソースオラクル DIAとの統合)を進めています。ZKロールアップは、高いセキュリティと資金効率を実現する技術で、機関投資家向けの金融商品開発に非常に適しています。これにより、大手金融機関や安定した資本の流入が期待されます。

Aster : ASTR

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：取引量の急増が競合プロジェクトにも影響

Asterは9/25 24時間の取引量が247億ドルに達し、大きく成長しました。主な理由は、競合のHyperliquidからユーザーを引きつけるために、追加報酬（エアドロップ）などの魅力的なキャンペーンを展開したことです。さらに、Binanceの関連組織であるYZi LabsやCEOのCZ氏が戦略的に支援を行い、知名度や信頼感が向上。CoinMarketCapでも大々的なプロモーションが実施され、多くの新規ユーザーを呼び込みました。また、永続的な取引（永久先物）市場全体が活況を迎えているという追い風もあり、Asterへの資金流入や取引の活発化につながりました。今後は、この増えたユーザーを維持できるかが注目されます。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 9/26

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap (CMC) における過去7日間の検索トレンドや訪問者数、RSIを分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#82	 Pancake Swap	DEX	¥137,921,282,305	¥399.62	5.31倍 (UNI比)	0.23%
#133	 Linea	Layer2	¥60,257,078,479	¥3.89	13.03倍 (MNT比)	-0.25%
#267	 Hemi	BTCFi	¥22,535,900,222	¥23.05	5.23倍 (PENDLE比)	179.88%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、**-2.74%**となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、**とは** 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

PancakeSwap：CAKE

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：異なるチェーン間の即時取引でユーザーが拡大

PancakeSwapは 9/22 にRelayと呼ばれる機能を統合し、Solanaを含む7つの異なるブロックチェーン間で即時に取引が可能となりました。 通常、異なるチェーン間で資金を移動するには「ブリッジ」と呼ばれる仕組みが必要ですが、この新機能によりその手間がなくなり、ユーザーにとって操作が簡単で安全性も高まりました。スワップ申請から完了までの時間は約5～15秒程度に短縮され、手数料も従来より大幅に削減されたと評判です。これによって、多くのユーザーがPancakeSwapを使って 異なるチェーン間の資産を効率よく取引することが期待できます。 ただし競合が追随して同じような機能を導入すると、その優位性が薄れる可能性もあり、実装の安全性確保も重要になります。

Hemi : HEMI

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：最大手取引所Binance上場で一気に知名度向上

Hemiは9/23 世界最大級の仮想通貨取引所Binanceに上場しました。これにより多くの投資家の目に触れ、取引が活発化しました。また、既存の保有者に向けたエアドロップ（無料トークン配布）も実施されました。Hemiはビットコインの安全性とイーサリアム系の柔軟なプログラム機能を併せ持つ仕組みで、今後のビットコイン関連の金融サービス（BTCFi）において差別化が期待されています。短期的には価格の変動が予想されますが、中期的には資金や開発者が集まり、経済圏の成長が見込まれます。

Linea : LINEA

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：基盤技術強化で使いやすさと分散性が向上

Lineaは9/22 新たな合意形成システム（Maru Consensus Layer）を導入し、ネットワークの処理速度や安全性を強化しました。また、ノード（ネットワーク参加者）のアップデートも発表しました。MetaMaskやInfuraなどの人気の開発ツールとの連携も進めており、開発者が新しいアプリケーションを作る際の負担が減ります。今後は、多くのゲームや金融サービスの導入が期待されており、利用が増えることで取引量や資産の流入が継続的に伸びる可能性があります。

大穴：新規銘柄 発掘ガイド 9/26

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング250位から500位に位置する銘柄を調査し、成長性の高い銘柄を選定する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄は、TOPや中堅銘柄の分析とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#85	 OG	AI	¥130,715,324,675	¥612.98	4.12倍 (HYPE比)	—
#187	 Lombard	BTCFi	¥34,831,132,312	¥154.80	3.38倍 (PENDLE比)	—

※Lombardは、過去の月次レポートの項目にありました有名VCの出資銘柄として2024年10月の月次レポートにて選出している銘柄となります。



OG : Zero Gravity

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：分散型AI専用ネットワークが本格稼働

9/22 OG (Zero Gravity) は、分散型AI (DeAI) に特化したメインネット「Aristotle」を公開しました。AIを利用する際に必要となるデータや計算能力を、分散して提供できるよう設計されています。ChainlinkやGoogle Cloud、Alibaba Cloudを含む100社以上と連携し、高速かつ大量のデータ処理が可能な環境を提供しています。AIアプリケーションの開発やAIを使ったサービスが増えることで、安定的な収益が見込めます。今後、AI分野の主要なアプリケーションが定着すれば、利用者や開発者が増え、継続的な収益増が期待されます。

Lombard : BARD

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：ビットコインを活用した金融サービスの拡大

Lombardは9/18 主要取引所へ上場し、CoinbaseやUpbitなどを通じて流動性が大きく向上しました。ビットコインを預けることで利息を得られる「Liquid BTC (LBTC)」を提供しており、短期間で預入資産が急増しました (92日間で10億ドル達成)。ビットコインをただ保有するだけでなく、生産的に活用できるようにすることで、レンディング (貸付) や様々な資産の担保として利用が広がっています。今後、主要な金融サービスでLBTCが採用されれば、さらなる成長が期待できますが、BTCFiの領域が業界全体で実用可能なレベルとジャッジされるかが重要な分岐点となってきます。

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>